



如意ヶ丘

第29号

《発行》令和6年1月31日



令和5年度如意ヶ丘同窓会定期総会 (R5.7)

ごあいさつ



会長

山崎 泰邦

厳冬の候、会員の皆様にはご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より、如意ヶ丘同窓会に多大なご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5月8日に2類から5類に変更となり、停滞していた社会活動が、徐々にではありますが平時に戻り始めました。学校行事も運動会や3年に一度の府丘祭も実施されました。また、本校の特徴でもある、海外語学研修も再開されました。韓国語コースは韓国へ、中国語コースは台湾へ、ロシア語コースは函館市にあるロシア極東連邦総合大学函館校にそれぞれ研修を実施しました。同窓会として4年ぶりに激励金を生徒全員に渡し、今年7月に予定している同窓会総会の場での発表を約束しました。

同窓会は4月にゴルフコンペを、表彰式を行わない等、コロナ対策を実施して開催しました。制限が多くあった中で41名の参加を頂き誠にありがとうございました。そして、同窓会総会を7月15日に4年ぶりに開催しました。3年というブランクは想像以上で、準備など大変手間取りましたが皆さんの協力で無事終えることができました。また9月24日には関西支部の総会も開催され、本部から山本健一副会長と高野校長に出席して頂きました。少し混乱もあったようですが久々に親交を深めることができ、大いに盛り上がりしました。

嬉しいニュースを一つお伝えします。地元の一宮自治会が実施されている「白山林道クリーン作戦」が第64回林道維持管理コンクールにおいて最高賞の「農林水産大臣賞」を受賞され本校に報告がありました。2002年に始まった事業は実に21年間継続され、本校も長年にわたり協力してきました。地域交流活動の一つが地元に大きく貢献しました。

今年は、全ての行事を制限なく実施する計画です。令和6年度の総会は、7月13日開催の予定です。会員の皆様の参加をお待ちしています。伝統と歴史のある如意ヶ丘同窓会の更なる発展と母校の繁栄に、微力ではありますが引き続き努力してゆく所存であります。何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

向寒の候、会員の皆様には御身ご自愛のほどご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

対面の大切さ



校 長

高野 靖彦

学校に活力が戻っています。

そのような中、改めてリモートではなく「対面」で行うことの大切さを実感しています。もちろん、リモートでは物理的に離れていても支障がなく、チャットでは情報伝達が極めて早い、という大きなメリットがあります。しかし、コロナ禍でリモート授業を行った各大学が、学生へアンケート調査を実施し、その結果では「つながりの実感が希薄になった」との回答が多かったようです。リモートでは画面上で時間を共有し、顔と顔を合わせて友人と会話もできるのに、親しい友人になったという実感があまり湧かない、というのです。

昨年4月、本校に校長として赴任しました、高野です。如意ヶ丘同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校への温かなご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、基本的な感染症対策を継続しつつ、授業や学校行事などの教育活動の制限がほぼ無くなりました。朝夕には、教員や生徒の元気な挨拶が交わされ、休み時間には生徒の笑い声も聞こえてきて、

ある調査によれば、人間のコミュニケーションの90%以上は、身振りや手振りなどのボディランゲージで構成されているとされます。微笑みや苦笑い、眉間のしわなどの細かな顔の表情も広い意味でその範疇に入るように思います。

画面上では、これらが欠如するため、伝えたことが、どこまで相手に伝わっているのかが判別できず、不安が残り、相手との距離が離れたままであると感じるのでしょう。

現代精神医療の基礎を築いたとされる、アメリカ精神科医師のサリヴァンは、「思春期に自分の思いを他者と共有できることを体験することが、その後の心の成長と健康に大きな影響を与える」とし、心の成長の土台には、他者とのつながりを実感することが大切であると指摘しています。だとすれば、学校という「対面」空間は、生徒の心の成長において重要であると言えるでしょう。

さて、昨年7月、如意ヶ丘同窓会の定期総会・懇親会が4年ぶりに対面で開催されました。その会では、私も「五感」をフルに使い、体を動かし、再会の握手をし、笑い、味わい、同窓会の皆様と楽しくコミュニケーションできました。総会を終え、自然と心中に芽生えたのは、つながりの実感と安心感でした。

結びに、如意ヶ丘同窓会の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念するとともに、今後とも本校への変わらぬご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

総会報告

伏木高校如意ヶ丘同窓会

令和5年度如意ヶ丘同窓会が、7月15日(土)16:00より、伏木コミュニティセンターにて開催されました。

コロナ明けで、4年ぶりの開催ということもあり、64名の出席がありました。関東如意ヶ丘同窓会から酒井敬司様、関西支部から田嶋優様、本山紀美子様にも、ご出席いただきました。

総会は、城光副会長の司会進行で、山崎同窓会長、高野校長の挨拶がありました。議事は、議長に選出された山崎会長から円滑に進められ、事業計画(案)、会計予算(案)等が、すべて承認されました。

続いて、吹奏楽部による、伏木曳山車のお囃子演奏、琴部による琴の演奏がありました。

その後、懇親会へと移り、久々の同士との再会に、会場は大いに盛り上がりしました。

最後に出席者全員で、声高らかに校歌を斉唱し閉会となりました。

今年度、吹奏楽部の生徒が、十七軒町曳山車のお囃子に挑戦し、お祭りに参加しました。

また、国宝になった勝興寺のイベントなど、色々な場所で、琴部の生徒が琴の演奏を披露しています。

伏木地区にある唯一の高校で、イベントや、ボランティア活動など、地域に溶け込んだ活動を行っている、この伝統ある素晴らしい高校を、しっかり守っていくことが、我々同窓会の使命だと考えております。同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長 戸澤 秀行(伏高39回)



しい高校を、しっかり守っていくことが、我々同窓会の使命だと考えております。同窓会会員の皆様におかれましては、今後とも、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度

如意ヶ丘同窓会顧問・役員

役 職	卒業回数	氏 名
顧 問	商業 16 回	大黒 幸雄
〃	北高 3 回	山下 和夫
〃	伏高 16 回	牧 亨
〃	伏高 18 回	山口 正志
〃	伏高 38 回	石須 大雄
〃 (関東如意ヶ丘)	北高 6 回	酒井 敬司
〃 (関西支部長)	伏高 12 回	杉林 清
〃 (学 校 長)		高野 靖彦
会 長	伏高 23 回	山崎 泰邦
副 会 長	伏高 22 回	増井 修
〃	伏高 28 回	上田 耕一
〃	伏高 28 回	谷内 浩仁
〃	伏高 30 回	炭谷 強
〃	伏高 31 回	林 延幸
〃	伏高 31 回	松嶋 浩二
〃	伏高 37 回	条谷 正利
〃	伏高 39 回	戸澤 秀行
〃	伏高 39 回	金田 健一
〃	伏高 40 回	宮越 一郎
〃	伏高 40 回	山本 政則
〃	伏高 42 回	山 鉄也
〃	伏高 43 回	山本 健一
〃	伏高 43 回	城光 茂
〃	伏高 44 回	杉本 和文
〃	伏高 44 回	増岡 寛之
〃	伏高 44 回	山岡 弘之
〃	伏高 50 回	加治 幸大
〃	伏高 50 回	川端 秀和
〃	伏高 51 回	奥原 理
監 査	伏高 22 回	向井 辰郎
〃	伏高 26 回	澤武 博

第 27 回如意ヶ丘同窓会関西支部 総会・懇親会

令和 5 年度総会・懇親会を令和 5 年 9 月 24 日「道頓堀ホテル」において、母校より高野靖彦校長、山本健一副会長を来賓としてお迎えし、総勢 18 名の出席で、第 27 回如意ヶ丘同窓会関西支部総会が開催されました。

冒頭、校友物故者への黙祷を捧げました。

次に杉林支部長からは新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響で総会を 3 年にわたって自粛せざるを得ず、今年漸く開催できたを嬉しく思うとの挨拶がありました。続けて、山本副会長から会長がやむを得ない都合でこの総会に参加できないことのお詫びと、間もなく同窓会結成 100 年を迎えるにあたっての準備状況についての報告を兼ねたご挨拶がありました。最後に高野校長から最近の伏木高校のクラス構成や生徒の活動についての報告を含めたご挨拶がありました。

来賓のご挨拶に引き続き田島事務局長の司会で議事が進行されました。令和元年度から令和 3 年度の総会については書面によって各年度の事業報告、収支報告、事業計画(案)、収支予算(案)の会員への報告が終了していたことから、令和 4 年度事業報告、令和 4 年度収支報告、令和 4 年度会計監査報告、令和 5 年度事業計画案、令和 5 年度収支予算案等が各担当幹事から報告され、参加会員からの意見等もなく無事終わることができました。総会終了後に参加者全員の集合写真撮影が行われ、懇親会



までの間一旦休息になりました。

懇親会では、高野校長の音頭に合わせて参加者全員が乾杯を唱和し、引き続き懇談に移りました。関西支部の新しい会員に市山肇氏が加わり、いつものメンバーも久しぶりの顔合わせだったことから、マスクを外して大変賑やかな懇親会となりました。西川副支部長や横森幹事、本山幹事のサポートによる富山県の特産品の抽選会や山本幹事のサポートによるカラオケ大会も例年に増して大変盛り上がりしました。総会を含めて 3 時間の予定があっという間に過ぎ、最後に恒例の麦谷一男氏による一本締めで閉会となりました。参加者は来年の再会を約束し、盛会のうちに解散となりました。

「関西支部の先輩方とともに」

副会長 山本 健一 (伏高 43 回卒)

令和 5 年 9 月 24 日「第 27 回如意ヶ丘同窓会関西支部総会・懇親会」が開催され、山崎会長の代理として、高野校長とともに出席させていただきました。

急な代理出席でもあり、心の準備も含めていろいろな準備が行き届かないまま出向いた若輩者にも関西支部の先輩方は心優しく接していただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

先輩方にとって 3 年ぶりという事もあり、話題満載・歓喜の再会の様子を拝見し、関西の地で育まれた如意ヶ丘同窓会関西支部の結束力の強さをあらためて感じるひと時になりました。カラオケ大会では、自慢の十八番を披露され雰囲気は最高潮に達し、私も調子に乗って 2 曲も歌わせていただきました。まさか、道頓堀でカラオケを歌えるなんて思ってもみませんでした。

総会挨拶の中で、私が勤務する伏木海陸運送の硬式野球部について紹介し、11 月に大阪の京セラドームで開催される「2023 日本選手権大会」に出場する事をお伝えさせていただきました。試合日程が決まったら連絡する旨

お伝えしておりましたところ、後日、抽選で決まった対戦相手は、な、なんと大阪代表のパナソニックに。関西にお住まいの先輩方にとっては、大阪代表を応援したいはず、思い切って関西支部の田島事務局長と本山幹事にお伝えしましたところ、快く「当日応援に行くから!」とのお返事をいただきました。

試合当日は関西支部の杉林支部長はじめ 7 名の先輩に駆けつけて頂きました。

関西支部事務局長補佐の市山先輩には滋賀県から駆けつけていただきました。

伏木海陸運送の林監督役とは野球部同級生であり、球場で久しぶりの再会を果たされ肩をならべて応援いただきました。熱い応援をいただいたおかげもあり、選手たちは大健闘する事ができました。

阪神タイガースが 38 年ぶりに日本一となった記念すべき年に 2 度も大阪を訪問する事ができ、大阪の熱い心意気と如意ヶ丘同窓会の絆に触れさせていただくことができました。関西支部の皆様、誠に有難うございました。



富山県立伏木高等学校第28回卒業34H同窓会

開催日：令和5年6月25日

前回は還暦を記念して34H同窓会を開催しましたが、今回は、新型コロナウイルス感染症が第5類になることと、我々が伏木高校に入学してちょうど半世紀になることから、宴会に加えて「50年前にタイムスリップ」と題し、伏木高校でホームルームを開催する同窓会を企画しました。

3月から数回にわたり打ち合わせを行い、恩師の関永文先生の了解を得て、伏木高校の高野校長先生をはじめ土部事務長のお取り計らいもあり、再びわが母校の当時の教室でホームルームを実施することが出来ました。

当日は青空が広がり、6月とは思えない暑さで、高伏道路をはやる気持ちを押さえ会場の伏木高校へと愛車を走らせました。

やがて目に飛び込んできた校舎は「わあ、変わっとなあ〜」と思わず言ってしまったほど、50年近く経った今もそのまです。

校門を通り抜け車を停め周りを見渡すと昔の思い出が…、木造建築の体育館や生徒昇降口は既に鉄筋の体育館や校舎に生まれ変わっていましたが、うどんの出汁で作ったラーメンをよく食べた食堂、サッカー部・野球部等が練習していたグラウンド、昔のまです。

校舎に入り廊下を通り階段を上り3階へ、ここにも思い出が…、1年の頃まだ同好会だったバスケットボール部。雨の日には体育館が使えず廊下や階段をひたすら走っていました。

そして我が教室34Hへ、廊下の窓から見る有磯海の景色は絶景です（あの頃は思わなかったけど）、教室での思い出は…、

居眠りする者・早弁する者・人の弁当を食べようと追いかける者…

いよいよ懐かしの伏木



高校校舎34Hにて関永文先生をお迎えしホームルーム開催。当番の号令で開始、先生が当時の出席簿で出席を取ってくださいました。同窓生は、全員が白シャツ黒ズボンで集まり、当時になりきってスピーチをしました。（多少無理を感じる者もいたが？）

当時のエピソードで笑いを誘う者、先生に感謝の言葉を述べる者、偶然当日の朝探し物をしていて卒業証書を見つけ持参、先生から改めて授与される者、当時の過ちを懺悔する者等々終始和やかに進行了。中でも現奥様（同級生）との馴初めの告白スピーチでは大いに盛り上がりました。最後に先生から当時の我々への思いなど語って頂き、「磯はなび」に移動しました。

準備が整ったところで先生が入場され、花束・記念品贈呈、記念撮影と楽しい宴がスタートしました。

お酒も入りより一層盛り上がり、あっという間に終わりの時間となりました。（楽しいと早い）二次会は定番の部屋飲みとなり、次回は卒業して半世紀の節目に開催する約束を交わしました。その日の夜は、各自、高校時代にタイムスリップできたことでしょう。とても、素晴らしい一日となりました。

西道 道行、般若 明、谷内 浩仁（伏高28回）

「4年ぶりの海外語学研修」

伏木高等学校2学年主任 川淵 理絵

今年度、本校では4年ぶりとなる海外語学研修へ行ってきました。2学年生徒が選択している第2外国語の言語別に3つのコースに分かれ、令和5年12月19日(火)～22日(金)3泊4日の日程で研修を行いました。韓国語選択者43名は韓国、中国語選択者38名は台湾、ロシア語選択者18名は北海道を訪問しました。

そして、語学研修に先立ち、令和5年11月16日(木)、本校において、如意ヶ丘同窓会山崎会長様より国際教育基金からの助成金を授与いたしました。また、山崎会長様よりご挨拶と激励のお言葉を頂戴し、各コースの代表生徒3名が、感謝の言葉や研修への意気込みを述べました。



今回の語学研修は、中学生の時にコロナ禍で、修学旅行や様々な体験活動に制限のあった生徒たちにとって、格別な経験になったと思います。一方、社会情勢の変動や物価の高騰等から4年前とは違った新たな問題にも直面することになりました。

コロナ後ということからホームステイが実現できなかったことや研修諸費用の上昇の影響からか、アメリカへの研修希望者が多く集まらず実施できなかったこと等は、今後の課題だと考えています。しかし、本校国際部を中心に教職員一同が、生徒にとって最善の形になるように模索し、今年度の研修を実施できましたことは、大変喜ばしく感慨深く感じております。

実際に語学研修に参加した生徒は、事前に設定していた個人研究のテーマに沿って調査を行い、それぞれの研究内容を深めました。また、韓国や台湾の高校を訪問し、現地の高校生とのコミュニケーションを通して、異文化にふれ、言語を学ぶ重要性についても再認識できたようでした。それから、研修先の歴史的建造物や博物館等を見学し、その国の文化や歴史について肌で感じる事ができたことも貴重な経験になりました。ロシア語選択者は、現在ロシアへの渡航ができないため、北海道函館にあるロシア極東連邦総合大学函館校を訪問しました。さらに、ロシアとつながりのある場所を訪ねることで、ロシア文化にふれることができました。

語学研修では、生徒は日頃の学習成果を存分に発揮し、積極的に研修に取り組んでいました。今後、この経験が生徒たちにとって人生の糧となってくれることを期待しています。

そして、最後になりますが、如意ヶ丘同窓会会員の皆様にはいつも本校の教育活動に温かなご支援を賜り心より感謝しております。皆様の今後の御健康と御多幸をお祈りいたします。

各研修の詳細につきましては、令和6年7月13日(土)に同窓会総会において報告いたします。

三北 回卒高代 山産商會 山下和夫	九北 回卒高代 東光産業(株) 取締役 布野彰一	十伏 回卒高代 エムアールテクノサービス(株) 代表取締役 作道宏	十伏 回卒高代 (株)ウエノ 取締役会長 上野宏芳	十五伏 回卒高代 (株)フシキ住設 代表取締役会長 中山勝儀	十六伏 回卒高代 東光運輸(株) 代表取締役 牧亨	十八伏 回卒高代 東洋通信工業(株) 社長 山口正志	二十伏 回卒高代 マスイエンジニアリング(株) 代表取締役 増井修	二十伏 回卒高代 社会福祉法人 伏木会 理事長 山崎泰邦	二十伏 回卒高代 (有)北陸ケアサービス 社長 阿尾隆司	二十伏 回卒高代 (有)ばんばん保険企画 代表取締役 柳沢昌文	二十伏 回卒高代 (有)昭和運輸 代表取締役 小泉哲二	二十伏 回卒高代 井上動物病院 院長 井上人士也	二十伏 回卒高代 セブンイレブン高岡城東店 松長聡	二十伏 回卒高代 浜焼ぎ 浜風
----------------------------	--------------------------------------	---	---------------------------------------	--	---------------------------------------	--	---	--	--	---	---	--------------------------------------	------------------------------------	-----------------------

令和 4 年 12 月、勝興寺の「本堂」と「大広間及び式台」の 2 棟が国宝に指定された。今回の寄稿ではその指定理由を紹介する。少し専門的で難解な内容となるが、お付き合いいただきたい。

最初に、国宝に指定される基準を押えておこう。建造物の場合は、(1)意匠的に優秀なもの、(2)技術的に優秀なもの、(3)歴史的価値の高いもの、(4)学術的価値の高いもの、(5)流派的又は地方的特色において顕著なもの、のいずれか一つに該当して指定された重要文化財のうち、『極めて優秀で、かつ、文化史的意義の特に深いもの』と評価されるものが国宝の指定の対象となる。

このことを念頭に置きながら、「本堂」と「大広間及び式台」の評価をみていこう。

1 点目に、「本堂」と「大広間及び式台」の個々の評価である。本堂は、建登せ柱（通し柱）を多用した近世の大型真宗本堂として屈指の規模を誇り、江戸後期以降の我が国を代表する大型寺院本堂である、とされた。一方、大広間及び式台は、浄土真宗の対面所（ここでは大広間と同義、以下同じ）の初期の形式から発展した、対面所の整備過程を体現する建物であり、歴史的価値は極めて高い、と評価されている。

2 点目は、浄土真宗という宗派の観点からの評価である。すなわち、本堂、対面所を完備した、本山級に準ずる連枝（本願寺門主の一族）もしくは別院格の寺院（勝興寺は連枝寺院）としては破格の規模、形式を誇り、全国的にも大型真

宗寺院の典型である、とされた。

3 点目は、『文化史的意義』について、勝興寺は近世以降、加賀藩前田家の庇護のもと、本願寺との関係を深めた。我が国の社会に大きな影響を及ぼした浄土真宗が、畿内から北陸へ教線を拡大する中、地域の拠点となった宗教施設として深い文化史的意義を有している、と評価された。

最後に、『境内全体』の評価もされている。すなわち、本堂、対面所を完備した浄土真宗の境内としては、本山級の寺院に匹敵する広さを誇り、本堂、大広間及び式台をはじめ、充実した堂舎、殿舎群は、門や堀、土塁などの周囲を取り囲む工作物と一体となって、類まれな歴史的景観を形成する、とされた。

以上のことから、私見では、本堂は前述の重要文化財の指定基準の(2)、(3)、(5)、そして大広間及び式台は同じく(3)、(4)の指定基準に該当するものであり、それぞれが『極めて優秀で、かつ、文化史的意義の特に深いもの』と評価され、国宝に指定されたものと考えて間違いはないであろう。



第20回マスターズ甲子園2023

野球部OB 伊澤 忠（伏高 34 回）

日 時	2023 年 11 月 11 日・12 日
場 所	阪神甲子園球場
チーム編成	富山県選抜（13 校 50 名・当校からは 4 名出場）
対戦相手	兵庫県代表 伊丹北高校 O B
試合結果	2 - 2 引分け （8 回表 2 アウト 3 塁攻撃中に時間切れにより終了）

選抜チームでの出場でした。19 歳～ 81 歳までが一同に会して、夢の舞台阪神甲子園球場で 90 分という限られた時間の中、全員で野球を楽しんできました。

11 月 10 日 23 時に富山発バス移動を行い、11 日開会式・入場行進、12 日第 1 試合 8 時プレイボールの日程でした。

対戦相手の伊丹北高校 O B は兵庫県 24 チーム 5 試合を勝ち抜き代表となり、プロ野球選手を 3 名輩出している強豪です。当日も元プロの投手も参戦していました。

ゲーム展開は 2 回に 2 点先制されるも 5 回・6 回と 1 点ずつとり同点に追いつき 8 回もチャンスとなりましたが無念の時間切れとなりました。

選抜チームで高校も名前もわからない状態で、大会ま

でに 3 回の練習会を行いました。最後の練習会は母校伏木高校にて行い、この頃には一体感も生まれワクワクしながら当日を迎えることとなりました。プレイボールと同時に 50 名のボルテージは全開、試合展開も重なり緊張のあまり甲子園の魔物に食われるものあり、その中でも緊張を楽しむ、失敗を楽しむ、試合を楽しむ念願の全員出場も叶い大変幸せな 90 分でした。当校の 4 名も試合でも躍動・それ以外でも躍動し輝きを放っていました。しかしながら当校野球部は人数不足により合同チームの出場となっています。再建を目指し O B も頑張りますので、これからも当校野球部を応援していただければ幸いです。



二十七回卒 島田工業(株) 代表取締役 島田 博司	三十四回卒 松島工業(株) 代表取締役専務 松嶋 浩二	三十四回卒 数田工業(株) 代表取締役 数田 昭久	三十七回卒 スミエ工業(株) 代表取締役 条谷 正利	三十九回卒 三和運輸(株) 代表取締役社長 勝山 英和	三十九回卒 日光商事(株) 代表取締役 戸澤 秀行	三十九回卒 ティエムシーエムアール(株) 代表取締役 前田 伊和男	四十回卒 宮越工業(株) 代表取締役社長 宮越 一郎	四十回卒 ヤマ自動車(株) 代表取締役 山 鉄也	四十回卒 有楽 旬菜食飲 かね蔵 代表取締役 田守 盛久	四十回卒 山岡石材工業(株) 代表取締役社長 山岡 弘之	四十回卒 杉本美装(株) 代表取締役 杉本 和文	五十一回卒 奥原電気(株) 代表取締役 奥原 理
---	---	---	--	---	---	---	--	--	--	--	--	--



～令和5年度 進路状況～

進路指導主事 細口 真弓

今年度は、通常の高校生活を満喫しながら、それぞれが目標に向かって充実した毎日を過ごすことができました。生徒たちはコロナ禍での日々を乗り越えてきた不屈の精神で、自己の目標実現に向けて果敢に挑んでいたように思います。

(就職について)

高校生対象の需要は根強いものがあり、本校に届いた求人票も、8月末時点で昨年比1.5倍と増加しています。求人数的には十分と言えますが、今後は個人が仕事に求めるイメージと企業とのマッチングを進めていくことが肝心だと思っています。

(進学について)

進路先に合わせた学校選びも地域を問わず、3分の1以上の生徒が県外へと羽ばたいていきます。難関校へのチャレンジ志向と推薦型・総合型との二極化が顕著になっていますが、いずれの受験型においても基礎学力が大前提であることは言うまでもありません。

昨年度のアンケート調査では、「自分の進路に対して満足のいく進路実現ができた」と答えた生徒は、94.5%と非常に高い割合となりました。今年度も生徒の進路実現に向かい、教職員一丸となりまして生徒個々の能力を最大限に引き出し、最善の進路を選択できるよう、努力を重ねてまいりました。

同窓会の皆様には、本校生徒の進路実現のため一層のお力添えを宜しくお願いいたします。

令和5年度 大学等進路状況

令和5年12月末現在

進路先	合格者数	学校名・企業名等
国公立大学	7	富山大学、富山県立大学、新潟大学、長野大学、都留文科大学
私立大学	21	富山国際大学、金城大学、金沢学院大学、金沢工業大学、金沢星稜大学、北陸大学、愛知淑徳大学、京都外国語大学、帝京大学、日本福祉大学、立命館大学
短期大学	11	富山短期大学、富山福祉短期大学、岐阜市立女子短期大学、戸板女子短期大学
専門学校	26	高岡看護専門学校、北陸職業能力開発大学校、臼井美容専門学校、富山ビューティーカレッジ、富山県技術専門学院、富山県理容美容専門学校、富山歯科総合学院、富山情報ビジネス専門学校、富山大原簿記公務員医療専門学校、富山調理製菓専門学校、北陸ビジネス福祉専門学校、金沢文化服装学院、石川県理容美容専門学校、専門学校金沢美専、キャットミュージックカレッジ、東京アニメ・声優&スポーツ専門学校、履正社国際医療スポーツ専門学校
就職	15	日本郵便株式会社北陸支社、日本ゼオン株式会社高岡工場、塩谷建設株式会社、特別養護老人ホーム藤園苑、株式会社エービーシー・マート、JFE ミネラル株式会社クロム&リサイクル事業部、クラシエ製薬株式会社、株式会社ミュゼプラチナム、有限会社 LEGEND OF K、株式会社ホテルニューオータニ高岡、株式会社小杉カントリークラブ、自衛官

活動報告

Fushiki High School

令和5年度部活動等の記録

(令和5年3月～12月)

〈サッカー部〉

富山県 U-18 フットサルリーグ大会 2023 第3位

〈琴部〉

第34回富山県高等学校日本音楽演奏会 優秀賞

〈その他〉

第8回高校生万葉短歌バトル

優秀賞 チーム如意ヶ丘

高田 響楓 (33H) 町口辰衣菜 (23H) 坂東 俊希 (23H)

第46回ふれあい書道展

特選 河合 唯香 (31H)

特選 鈴井 日菜 (31H)

特選 門 玲杏 (33H)

第34回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞 都道府県賞 長澤 樹 (21H)

第24回富山県高校生ホームプロジェクトコンクール

入選 岩上 心咲 (11H)

第20回高岡山町ボエム大賞

佳作 大垣 恭也 (33H)

ゴルフ大会報告

第37回 如意ヶ丘グリーン会

参加者36名

開催日 令和5年4月8日(出)

開催場所 氷見カントリークラブ

優勝	増井 修 (伏高22回)	4位	松嶋 浩二 (伏高31回)	7位	市田 孝 (伏高31回)	10位	畑 齊嗣 (伏高31回)
準優勝	鶴井 孝行 (伏高19回)	5位	伊澤 忠 (伏高34回)	8位	永井 克典 (伏高26回)	B G	鶴井 孝行 (伏高19回)
3位	澤武 博 (伏高26回)	6位	中島 安治 (伏高30回)	9位	田子 健一 (伏高19回)		

INFORMATION

①平成28年版名簿発行のお知らせ

平成28年版如意ヶ丘同窓会名簿を発行しました。希望される方は直接来校されるかサラトにお申し込みください。

価格: 4,350円 (送料、税込み)

②会報購読、会報告の件

会報の購読を希望される方、および会報への広告掲載にご協力いただける方は、事務局までご一報ください。

③寄稿の件

本会報に掲載する原稿を募集いたします。学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話など皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと考えております。なお、原稿は1,000字以内でお願いいたします。下記のメールアドレス、または学校事務局まで送付ください。

④如意ヶ丘グリーン会参加者募集

毎年4月第2土曜日

富山県立伏木高等学校 同窓会事務局

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮2丁目11番1号

TEL 0766-44-1514 FAX 0766-44-1707

E-mail: fushikiko@ed.pref.toyama.jp HP: <http://www.fushiki-h.tym.ed.jp/>

編集後記

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、経済活動も通常に戻りつつあります。昨年7月には同窓会総会を4年振りに開催することができ、懐かしい方々との再会もありました。

昨年は富山県も異常気象に見舞われた年だったと思います。6月、7月には線状降水帯による局地的な大雨による被害。梅雨明け以降は真夏日や猛暑日等記録づくめの夏でした。

今年は災害のない年となることを祈念していましたが、元旦に能登半島地震が発生しました。我々の地元伏木も液状化現象が発生し、道路の隆起や家屋の傾き等大きな被害が発生しました。被災された皆様にお見舞いを申し上げるとともに早期の復旧を祈念いたします。

副会長 林 延幸 (伏高31回)